

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第20期第2四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	アーランドサービス株式会社
【英訳名】	ARCLAND SERVICE CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白井 健一郎
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田佐久間町一丁目8番地4 ニュー千代田ビル5階
【電話番号】	03(5298)5281(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 玉木 芳春
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田佐久間町一丁目8番地4 ニュー千代田ビル5階
【電話番号】	03(5298)5281(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 玉木 芳春
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第2四半期連結 累計期間	第19期
会計期間	自平成24年 1月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 1月1日 至平成23年 12月31日
売上高(千円)	6,144,046	10,935,473
経常利益(千円)	1,012,724	1,536,007
四半期(当期)純利益(千円)	582,694	803,141
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	582,687	803,126
純資産額(千円)	5,094,231	4,629,192
総資産額(千円)	7,170,378	6,495,238
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	247.64	341.33
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-
自己資本比率(%)	71.0	71.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	848,530	1,132,828
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	353,940	584,755
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	23,814	97,361
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,065,649	2,594,920

回次	第20期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	116.41

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 当社は第19期第4四半期より連結決算を行っているため、第19期第2四半期連結累計期間の経営指標等については記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第2四半期連結会計期間より、平成24年5月15日に設立いたしましたARCLAND SERVICE(H.K.)CO.,LIMITEDを連結子会社としております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景に緩やかな回復傾向にあるものの、長引く円高や欧州債務危機による海外経済の低迷など、依然として不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、消費者の節約志向の継続や原料相場の高騰による食材価格の上昇など、厳しい経営環境となっております。

このような環境下、当社グループにおきましては、既存店売上高向上への施策の実施と、出店エリアの拡大、出店加速に向けて取り組んでまいりました。

既存店につきましては、「かつや」において6回のフェアメニューの投入と3回のキャンペーンを実施した結果、1～6月の既存店売上高前年比は、直営店101.1%、F C店104.2%と好調に推移いたしました。

出退店につきましては、「かつや」を直営店4店舗、F C店16店舗の計20店舗出店したことにより、直営・F C各1店舗の閉店はありましたが、「かつや」の当第2四半期末における店舗数は、純増18店舗の195店舗となりました。その他の業態につきましては、「鯛焼き処武蔵家」など3店舗を閉店したことにより、当第2四半期末の店舗数は13店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,144百万円、営業利益974百万円、経常利益1,012百万円、四半期純利益582百万円となりました。

なお、当社グループは外食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、848百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,012百万円、現金支出を伴わない減価償却費108百万円があったものの、法人税等の支払額298百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、353百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出163百万円、関係会社株式の取得による支出102百万円、敷金及び保証金の差入による支出102百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、23百万円となりました。

これは主に、預り保証金の受入による収入95百万円があったものの、配当金の支払額117百万円等によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、3,065百万円となりました。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,200,000
計	8,200,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	2,458,000	2,458,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,458,000	2,458,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	2,458,000	-	456,320	-	408,562

(6) 【大株主の状況】

平成24年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
アーランドサカモト株式会社	新潟県三条市上須頃445番地	1,620,000	65.91
臼井 健一郎	東京都世田谷区	62,000	2.52
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	57,700	2.35
伊藤 昭	埼玉県北葛飾郡杉戸町	44,000	1.79
野村信託銀行株式会社(投信口)	東京都千代田区大手町二丁目2番2号	30,000	1.22
ザ バンク オブ ニューヨーク ト リーティ- ジャスデック アカウ ント (常任代理人 株式会社三菱東京U F J銀行)	AVENUE DES ARTS, 35 KUNSTLAAN, 1040 BRUSSELS, BELGIUM (東京都千代田区丸の内二丁目7番1号)	24,400	0.99
嶋崎 弘之	東京都大田区	23,800	0.97
玉木 芳春	東京都府中市	18,000	0.73
石村 藤夫	愛媛県新居浜市	17,200	0.70
梅原 義浩	栃木県宇都宮市	14,400	0.59
計	-	1,911,500	77.77

(注) 1. 上記のほか、自己株式が105,038株あります。

2. 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 44,400株

野村信託銀行株式会社(投信口) 30,000株

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 105,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,352,600	23,526	-
単元未満株式	普通株式 400	-	-
発行済株式総数	2,458,000	-	-
総株主の議決権	-	23,526	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アークランドサービス株式会社	東京都千代田区神田佐久間町一丁目8番地4ニュー千代田ビル5階	105,000	-	105,000	4.27
計	-	105,000	-	105,000	4.27

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

なお、当社は第19期第4四半期より連結決算を行っているため、前第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書は記載しておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,594,920	3,065,649
売掛金	359,636	350,096
商品	81,021	68,955
原材料及び貯蔵品	32,016	22,440
その他	233,197	331,229
貸倒引当金	1,900	1,800
流動資産合計	3,298,892	3,836,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,378,987	1,370,199
その他(純額)	154,423	151,776
有形固定資産合計	1,533,411	1,521,975
無形固定資産		
	5,279	6,298
投資その他の資産		
敷金及び保証金	968,787	972,331
建設協力金	442,605	493,387
その他	246,262	339,814
投資その他の資産合計	1,657,654	1,805,533
固定資産合計	3,196,345	3,333,807
資産合計	6,495,238	7,170,378
負債の部		
流動負債		
買掛金	516,674	460,515
未払法人税等	310,824	450,082
賞与引当金	-	37,286
その他	549,555	547,217
流動負債合計	1,377,053	1,495,101
固定負債		
受入保証金	322,778	412,987
資産除去債務	165,020	167,185
その他	1,194	872
固定負債合計	488,992	581,045
負債合計	1,866,045	2,076,146

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	456,320	456,320
資本剰余金	408,562	408,562
利益剰余金	3,843,180	4,308,226
自己株式	78,831	78,831
株主資本合計	4,629,231	5,094,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	-
為替換算調整勘定	-	46
その他の包括利益累計額合計	39	46
純資産合計	4,629,192	5,094,231
負債純資産合計	6,495,238	7,170,378

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	6,144,046
売上原価	2,515,404
売上総利益	3,628,642
販売費及び一般管理費	2,653,782
営業利益	974,860
営業外収益	
受取利息	5,331
協賛金収入	24,897
雑収入	9,450
営業外収益合計	39,679
営業外費用	
雑損失	1,815
営業外費用合計	1,815
経常利益	1,012,724
特別利益	
受取和解金	54,491
特別利益合計	54,491
特別損失	
固定資産除却損	25,686
店舗閉鎖損失	11,569
減損損失	17,815
その他	6
特別損失合計	55,077
税金等調整前四半期純利益	1,012,137
法人税、住民税及び事業税	436,384
法人税等調整額	6,940
法人税等合計	429,443
少数株主損益調整前四半期純利益	582,694
四半期純利益	582,694

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	582,694
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	39
為替換算調整勘定	46
その他の包括利益合計	6
四半期包括利益	582,687
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	582,687
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成24年1月1日
 至平成24年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,012,137
減価償却費	108,864
固定資産除却損	25,686
店舗閉鎖損失	11,569
減損損失	17,815
受取和解金	54,491
賞与引当金の増減額(は減少)	37,286
受取利息	5,331
売上債権の増減額(は増加)	9,539
たな卸資産の増減額(は増加)	21,642
その他の資産の増減額(は増加)	21,105
仕入債務の増減額(は減少)	56,159
その他の負債の増減額(は減少)	4,495
その他	93
小計	1,145,076
利息の受取額	1,464
法人税等の支払額	298,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	848,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	163,564
関係会社株式の取得による支出	102,018
関係会社預け金の預入による支出	2,000,000
関係会社預け金の払戻による収入	2,000,000
敷金及び保証金の差入による支出	102,495
敷金及び保証金の回収による収入	14,076
その他	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	353,940
財務活動によるキャッシュ・フロー	
預り保証金の受入による収入	95,533
預り保証金の返還による支出	1,700
配当金の支払額	117,648
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	46
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	470,728
現金及び現金同等物の期首残高	2,594,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,065,649

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 当第2四半期連結会計期間より、新たに設立したARCLAND SERVICE(H.K.)CO., LIMITEDを連結の範囲に含めております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給与・雑給	1,043,526千円
賃借料	496,238
賞与引当金繰入額	37,286

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年6月30日現在)	
現金及び預金勘定	3,065,649千円
現金及び現金同等物	3,065,649千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月23日 定時株主総会	普通株式	117,648	50	平成23年12月31日	平成24年3月26日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

当社グループにおいては、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券は当社グループの事業の運営において重要なものでないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当社グループは、デリバティブ取引を行っておりませんので該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	247円64銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	582,694
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	582,694
普通株式の期中平均株式数(株)	2,352,962

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

(株式分割)

当社は、平成24年7月23日開催の取締役会において、株式分割することを決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額の引き下げにより、当社株式により一層投資しやすい環境を整えることで、当社株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の方法

平成24年8月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割いたします。

3. 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,458,000株
今回の分割により増加する株式数	4,916,000株
株式分割後の発行済株式総数	7,374,000株
株式分割前の発行可能株式数	8,200,000株
株式分割後の発行可能株式数	24,600,000株

4. 株式分割の時期

効力発生日 平成24年9月1日

5. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が当連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりとなります。なお、当社は第19期第4四半期より連結決算を行っているため、第19期第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益金額については記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	82.55円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月10日

アーランドサービス株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	加藤 真美 印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	小沢 直靖 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアーランドサービス株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アーランドサービス株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成24年7月23日開催の取締役会において、株式分割を行うことを決議している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。